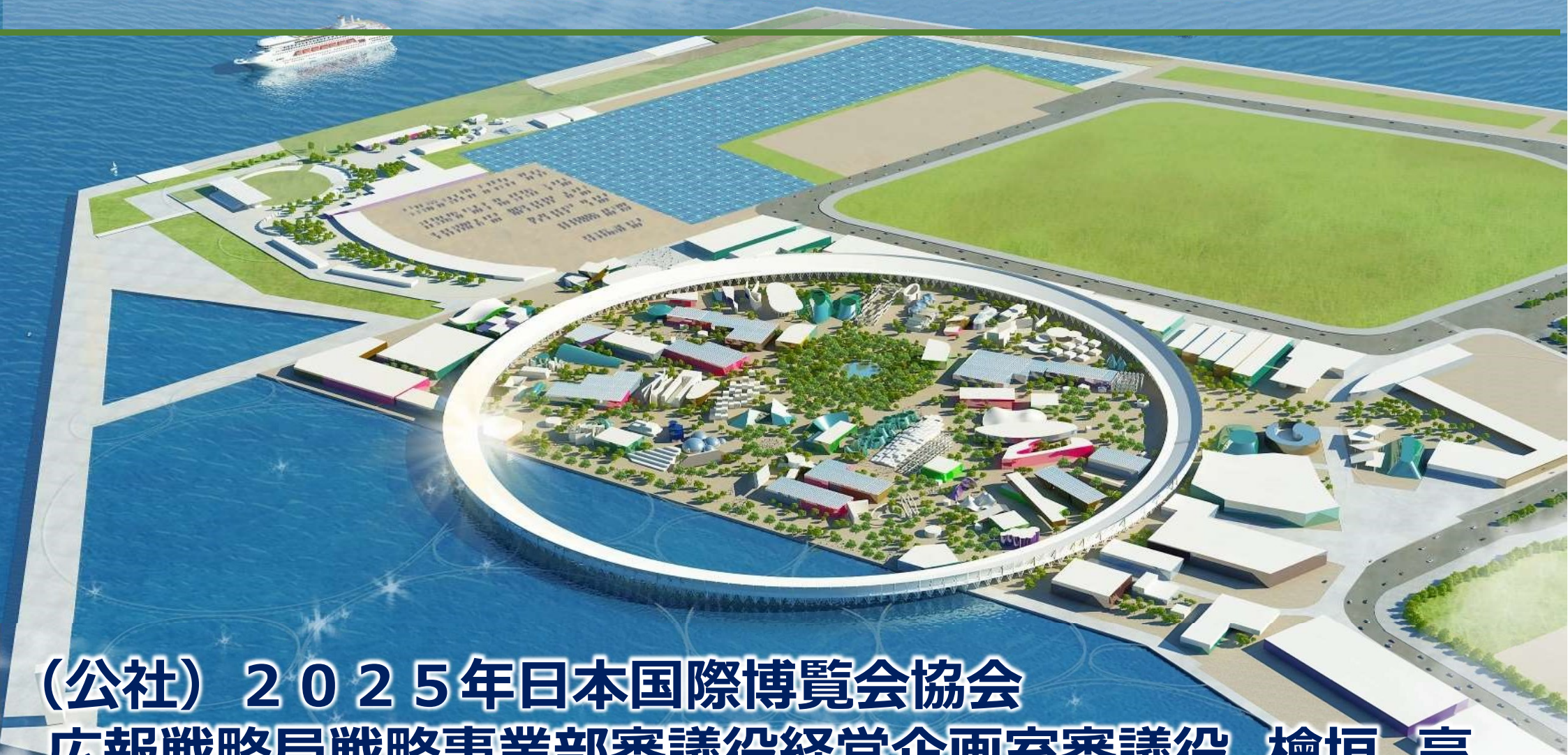


令和3年度 全国高等学校土木教育研究会
総会並びに研究協議会 全国(大阪)大会

2021年8月20日



大阪・関西万博がめざすもの



(公社) 2025年日本国際博覧会協会

広報戦略局戦略事業部審議役経営企画室審議役 檜垣 亨

国際博覧会（万博）とは①

世界中の人々が参加する国家プロジェクト 〔人類共通の課題を解決する場〕

《20世紀まで》

国威発揚や殖産興業
(産業見本市的) が中心

総
会
決
議
B
I
E

1994年

人
類
共
通
の
課
題
の
解
決
策
を
提
示
の

《21世紀から》

地球的課題と人類社会の持
続的な発展がテーマの中心に

ロンドン万国博覧会 (1851年)

※世界初の万博

パリ万国博覧会 (1867年)

※徳川幕府と鍋島・薩摩両藩が日本より
初出展

日本万国博覧会 (1970年)

※大阪で日本初開催

沖縄海洋博 (1975年)

大阪園芸博 (1990年) など

愛・地球博 (2005年)

上海国際博覧会 (2010年)

ミラノ国際博覧会 (2015年)

ドバイ万博 (2021年予定) など



ミラノ国際博覧会日本館

国際博覧会条約に基づく2種類の国際博覧会

登録博覧会

【大規模博覧会】

- ・5年に1回開催
- ・期間は6か月以内
- ・面積要件なし



＜国内開催実績＞ 旧 一般博

- ・大阪万博（1970）
- ・愛知万博（2005）



認定博覧会

【小規模博覧会】

- ・2回の登録博の間に1回開催
- ・期間は3か月以内
- ・25ha以内



＜国内開催実績＞ 旧特別博

- ・沖縄国際海洋博覧会(1975)
- ・国際科学技術博覧会（1985）
- ・国際花と緑の博覧会（1990）

2025年に日本が開催するのは大規模な「登録博覧会」

70年万博がきっかけで生まれたもの、広がったもの

■ウルトラソニック・バス (人間洗濯機)



■ファーストフード ケンタッキーフライドチキン (日本初上陸)



■電気自動車 (国内における初の試み)



■動く歩道 (万博を契機に全国的に認知)



■ワイアレステレホン (携帯無線電話機)



【その他】ファミリーレストラン、缶コーヒー、フランスパン、ブルガリアヨーグルト、空気膜構造、電動自転車、テレビ電話、民間警備会社、カプセルホテル、左側通行、地域冷房システム、メタボリズム、ピクトグラム（サイン計画）など

(出典：「EXPO'70パビリオン大阪万博公式メモリアルガイド」)

名称	2025年日本国際博覧会（略称「大阪・関西万博」）
テーマ	いのち輝く未来社会のデザイン
サブテーマ	Saving Lives（いのちを救う） Empowering Lives（いのちに力を与える） Connecting Lives（いのちをつなぐ）
コンセプト	People's Living Lab （未来社会の実験場）
会場	夢洲（大阪市此花区）
開催期間	2025年4月13日（日）－10月13日（月）
想定入場者数	約2,820万人

万博会場（夢洲）



万博会場（夢洲） 航空写真



テーマ 「いのち輝く未来社会のデザイン」

一人ひとりが自らの望む生き方を考え、それぞれの可能性を最大限に発揮できるようにするとともに、こうした生き方を支える持続可能な社会を、世界が共創 (Co-Creation) していくことを推進。

いのち、生きる、生き抜く



写真:ジョイセフ Pより



「いのち」の誕生から38億年

万博 = 「SDGs + beyond」 達成への飛躍の機会

- 2025年は、SDGsの目標年である2030年の5年前
- SDGs達成に向けた取組を加速させる絶好の機会
- 2030年のSDGs達成にとどまらず、+ beyond(2030年より先)
に向けた目標が示されることが期待される

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS





2017年 4月 9月 2018年 11/23 1999年 1月末 4月 10月 2020年 12月 2月 7/13 8/25 9/16 12/1 12/21 12/25 2021年 10月-3月末

ドバイ博（登録博）



EXPO 2020 إكسبو 2020
دبي، الإمارات العربية المتحدة
DUBAI UNITED ARAB EMIRATES

1年延期

※万博開催に必要な事業の方針や
考え方をまとめた協会のマスタープラン

基本計画策定・公表（協会）

基本方針を閣議決定（国）

BIE総会（登録申請書の承認）

博覧会推進本部が発足（国）

ロゴマークの決定

プロデューサーの選定

アンバサダーの発表



ロゴマークの決定
(アンバサダー 松本幸四郎氏)

登録申請書をBIEへ提出 ※各国へ示す実行計画

BIEへの登録申請に係る閣議決定

シニアアドバイザーの設置

公益社団法人移行

万博特措法の成立

一般社団法人

2025年日本国際博覧会協会設立

開催国決定

立候補申請文書（ビッド・ドシエ）をBIEへ提出

万博立候補及び開催申請について閣議了解

各国への参加招請活動

～ 政府における大阪・関西万博の基本方針 ～

2025年に開催される国際博覧会（大阪・関西万博）の準備及び運営に関する施策の推進を図るための基本方針（令和2年12月21日 閣議決定）

「I. はじめに （3）大阪・関西万博の意義」（抜粋）

1970年日本万国博覧会（大阪万博）が開催されてから半世紀が経過し、日本と世界を取り巻く環境も大きく変化した。経済発展が進む一方、少子高齢化への対応、温室効果ガスの排出削減、食料の安定供給と食品ロスの削減、富の集中や地域間格差の是正など様々な社会的課題の解決と経済発展を両立することが必要となっている。

日本は、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち **2050年カーボンニュートラル**、**脱炭素社会の実現**を目指すとともに、「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」を踏まえ海洋プラスチックごみ対策を国際社会とともに推進することとしている。また、AIやIoT、ロボット、ビッグデータをはじめとするデジタル技術を活用して様々な社会的課題の解決と経済発展を両立させる、**持続可能でインクルーシブな「Society 5.0」の実現**に向けて取組を進めている。

これらの取組を加速するために2025年日本国際博覧会（以下「大阪・関西万博」という。）の機会を活用するとともに、大阪・関西万博を契機に、日本は、「課題解決先進国」として、**人間一人一人がそれぞれの可能性を最大限発揮できる持続可能な社会を、国際社会と共に創る**ことを推し進める。

テーマの実現に向けて

- 万博の目的であるテーマの実現に向けて、事業のガイドラインであるPeople's Living Lab（未来社会の実験場）というコンセプトのもと、「世界との共創」「テーマ実践」「未来社会ショーケース」の3つを実施する。

意義

- いのち輝く未来社会へ
- SDGs達成・SDGs+eyondへの飛躍の機会
- Society5.0実現に向けた実証の機会
- 日本の飛躍の契機に

目的

[テーマ]

- いのち輝く未来社会のデザイン
(Designing Future Society for Our Lives)

[サブテーマ]

- Saving Lives（いのちを救う）
- Empowering Lives（いのちに力を与える）
- Connecting Lives（いのちをつなぐ）

手段（何をやるのか）

[事業コンセプト] People's Living Lab（未来社会の実験場）

世界との共創

公式参加
パビリオン

公式行事

テーマ実践

テーマ事業

「TEAM EXPO
2025」プログラム

テーマフォーラム

日本館

自治体等の出展

民間パビリオン

催事

未来社会ショーケース

未来社会
ショーケース
事業

バーチャル万博

大阪・関西万博の5つの特徴

- 1 海と空を感じられる会場
- 2 世界中の「いのち輝く未来」が集う万博
- 3 未来の技術と社会システムが見える万博
- 4 本格的なエンターテインメントを楽しめる万博
- 5 快適、安全安心、持続可能性に取り組む万博



会場デザイン① ～世界とつながる海と空に囲まれた万博～

- 四方を海に囲まれた会場ロケーションを活かし、世界とつながる「海」と「空」に囲まれた万博としての会場デザイン及び企画などを実施。
- 誘致の時から「非中心・離散」の理念によって多様性を鼓舞し、そこに「つながり」を重ね合わせた「多様でありながら、ひとつ」をデザイン。

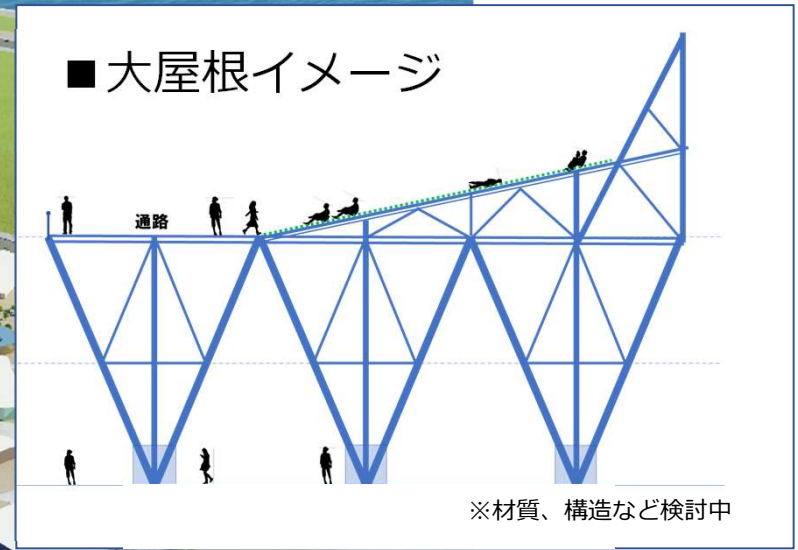


会場デザイン
プロデューサー
藤本壮介 ※敬称略



©David Vintiner

会場デザイン② ～大屋根（リング）～



会場デザイン③ ～瀬戸内海に沈む夕陽を臨む会場～



会場デザイン④ ～3つのエリア～

- 万博会場はパビリオンワールド、グリーンワールド、ウォーターワールドの3つのエリアで構成する。



グリーンワールド

- 会場の西側の海に面した緑地エリア。
- 屋外イベント広場や交通ターミナル、エントランス広場等、大人数が滞留することのできる開けた空間とする。

パビリオンワールド

- パビリオン等の施設が集まるにぎわいのエリア。主動線としてリング状のメインストリートと離散的に大小の広場を設け、ここからすべてのパビリオンにアクセスできる。
- メインストリートの上部には大屋根（リング）を設置。
- メインストリートから離れた位置に樹木を配した広場（静けさの森）を作り、これにつながるようテーマ館が配置される。

ウォーターワールド

- 水景を活用した憩いのエリア。水辺に面して飲食施設を配置するとともに、水上イベントの舞台としても活用。

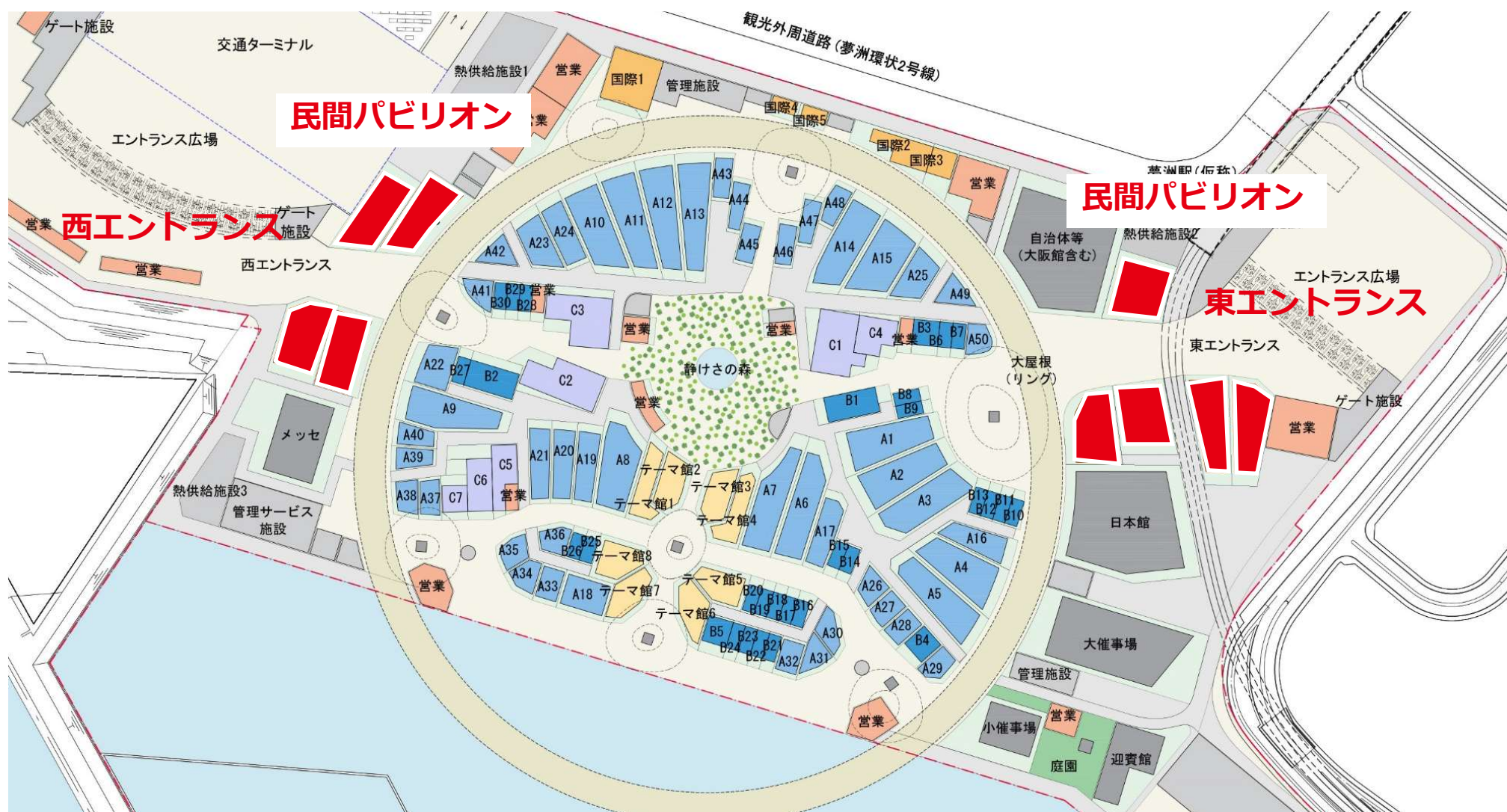
会場デザイン⑤ ～各国パビリオン・テーマ館～

- 各国パビリオンは（A 1～A 50まで）全て大屋根の下の『主動線』に面している。
- テーマ展示のパビリオンは、南側の水際から中央の「静けさの森」を結ぶラインの両側に向かい合って配置される。「いのち」をめぐる8つのテーマ展示が、それぞれ独立しながらも連携し、共鳴し合っって大きなストーリーを描くことができるように、隣接した配置とする。



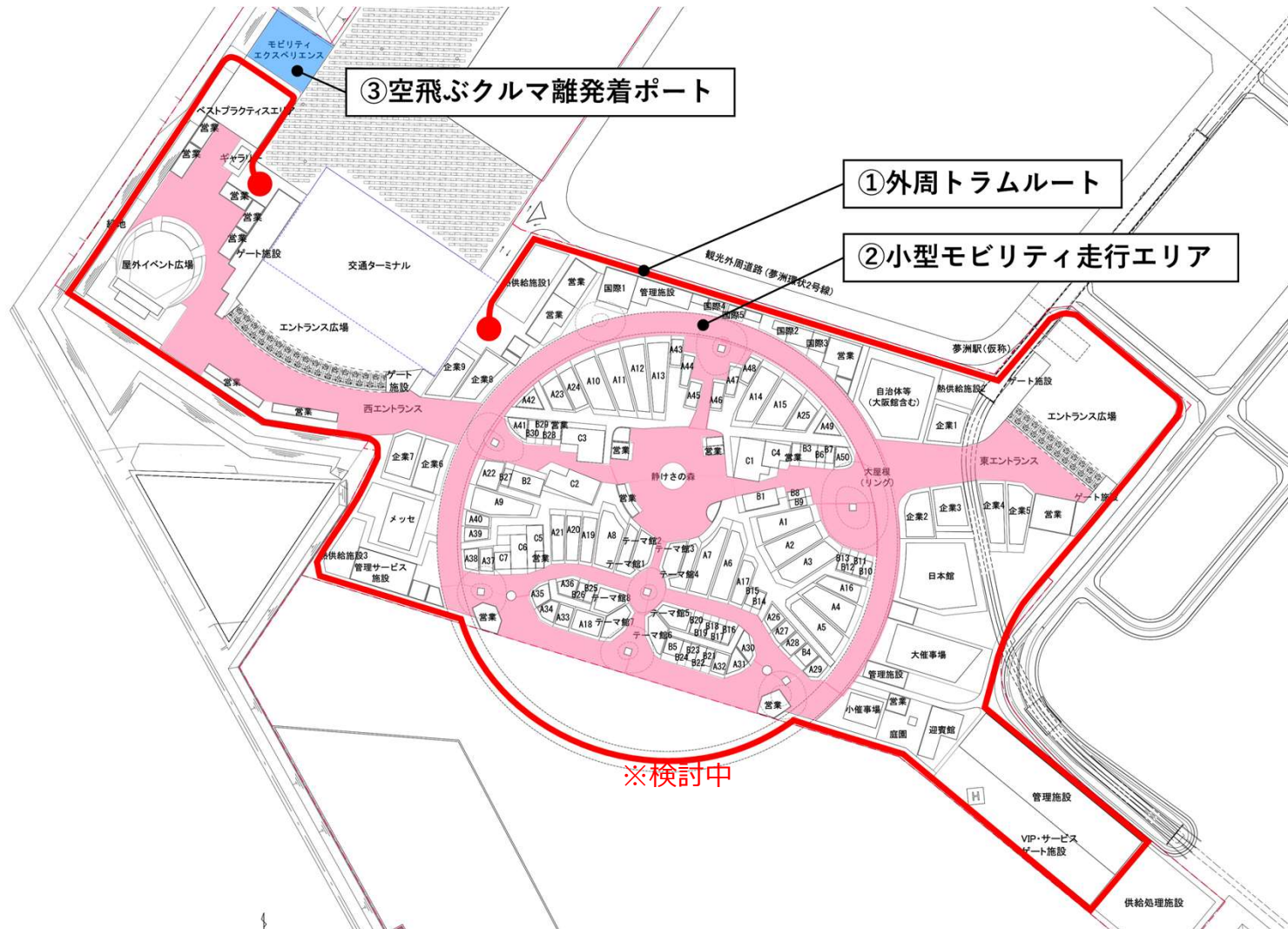
会場デザイン⑥ ～民間パビリオン、VIP対応～

- 民間パビリオンは、東と西のエントランス付近に配置する。
- 民間パビリオンもテーマの実現に向けて共に取り組むパートナーとして位置づけ、多彩な企業による未来社会のデザインを行う。






会場デザイン⑧ ～会場内移動（外周トラムなど）～

- 会場内での来場者の移動については、徒歩を主な手段として想定するが、高齢者、障がい者、子連れの家族等、様々な来場者が快適に会場内を移動できるように、また先進的なモビリティを体験する機会を得られるよう、多様なモビリティを導入する。



- 大阪・関西万博の3つのサブテーマを通じて、テーマの実現を目指す。
- 世界各国の公式参加者（参加国や国際機関）は、それぞれの立場からSDGs達成に向けた優れた取り組みを持ち寄り、会場全体でSDGsが達成された未来社会の姿を描く。

サブテーマ 一つ以上を選択	公式参加パビリオンのテーマ展開のトピック例		SDGs 17のゴール 一つ以上に取り組む
	個人の実践、自分自身の意識改革、啓発による気づき	コミュニティ、企業、政府、国、社会等による取組	
Saving Lives (いのちを救う)	生活の中の健康、健康寿命の延伸、心（精神）の健康、季節と衣食住、食と生活等	ライフサイエンス、労働環境の改善、貧困問題の解決、児童死亡率の低減等	
Empowering Lives (いのちに力を与える)	自己実現、ファッション、笑い、観光、文化、芸術、スポーツ、学び等	遠隔教育、ライフ・ワークスタイル、産業高度化、エンジェル投資等	
Connecting Lives (いのちをつなぐ)	デジタル活用、地球環境を意識した行動、気候変動への適応等	オンラインプラットフォーム、クラウド・ファンディング等	

150の国及び25の国際機関の参加を目指す

テーマ事業①

- 地球的課題の解決において創造力は極めて重要であり、創造力を活かすことのできる社会の未来像を示すために、テーマ事業は、創造力を主体とした事業構築手法（クリエイティブ・ドリブン）によって進める。



「いのちを知る」

福岡 伸一

生物学者、青山学院大学教授



- 生命系全体の中にある私たちのいのちの在り方を確認する。



「いのちを育む」

河森 正治

アニメーション監督、
メカニックデザイナー



- 宇宙・海洋・大地に宿るあらゆるいのちのつながりを感じ、共に守り育てる。



「いのちを守る」

河瀬 直美

映画監督

©LESLIE KEE



- 危機に瀕し、人類は「分断」を経験する。「わたし」の中の「あなた」を認めるいとなみの行方に、多様ないのちが、それぞれに、護られてゆく未来を描く。



「いのちをつむぐ」

小山 薫堂

放送作家、脚本家



- 自然と文化、人と人とを紡ぐ「食べる」という行為の価値を考え、日本の食文化の根幹にある「いただきます」という精神を発信する。



「いのちを拡げる」

石黒 浩

大阪大学教授、
ATR石黒浩特別研究所客員所長

- 新たな科学技術で人や生物の機能や能力を拡張し、いのちを広げる可能性を探求する。



「いのちを高める」

中島 さち子

音楽家、数学研究者、STEAM教育家

- 遊びや学び、スポーツや芸術を通して、生きる喜びや楽しさを感じ、ともにいのちを高めていく共創の場を創出する。



「いのちを磨く」

落合 陽一

メディアアーティスト

©蜷川実花

- 自然と人工物、フィジカルとバーチャルの融和により、自然と調和する芸術の形を追求し、新たな未来の輝きを求める。



「いのちを響き合わせる」

宮田 裕章

慶応義塾大学教授

- 個性あるいのちといのちを響き合わせ、「共鳴するいのち」を共に体験する中で、一人ひとりが輝くことのできる世界の模式図を描く。

シニアアドバイザー

- 協会における重要課題や専門的事項について、専門知識や技術、経験等を有する方から助言を受けるため、シニアアドバイザーを設置

(五十音順・敬称略)



安藤 忠雄
建築家

photo by 関野欣次



池坊 専好
華道家元池坊
次期家元



大崎 洋
吉本興業ホールディングス株式会社代表取締役会長



桂 文枝
落語家



河瀬 直美
映画監督

©LESLIE KEE



**ロバート
キャンベル**
早稲田大学特命教授



**コシノ
ジュンコ**
デザイナー



五神 真
東京大学大学院理学系研究科教授



ウスビ・サコ
京都精華大学学長



千 宗室
茶道裏千家家元



西尾 章治郎
大阪大学総長



宮田 亮平
金工作家

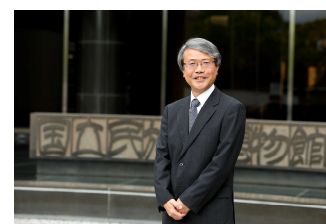


山極 壽一
総合地球環境学研究所長



山崎 直子
宇宙飛行士

©NASA



吉田 憲司
国立民族学博物館長

未来社会ショーケース事業① ～アイデアを会場で実装～

- 「Society 5.0実現型会場」の実現に向けて、幅広い参加を呼びかけながら、イノベティブなアイデアを会場で実装していくための取組を展開する。
- 事業の実施にあたっては、大阪・関西万博の事業費に加え、政府等の支援、民間企業の協賛等の協力を得て行う。



- 「Society 5.0実現型会場」の実現に向けて、現在検討を進めている具体的事業の例

カーボンニュートラル



画像 : Adobe Stock

- カーボンニュートラル、エネルギーを最適化する技術、水素エネルギー技術のショーケースとしての導入

デジタル



画像 : Adobe Stock

- リアルとバーチャルを融合した未来のエンターテインメントの実現
- デジタル技術を活用した入場制度、来場者サービスの実施

モビリティ



- 次世代モビリティとしての利活用が期待される空飛ぶクルマにより来場者に新たな移動体験を提供

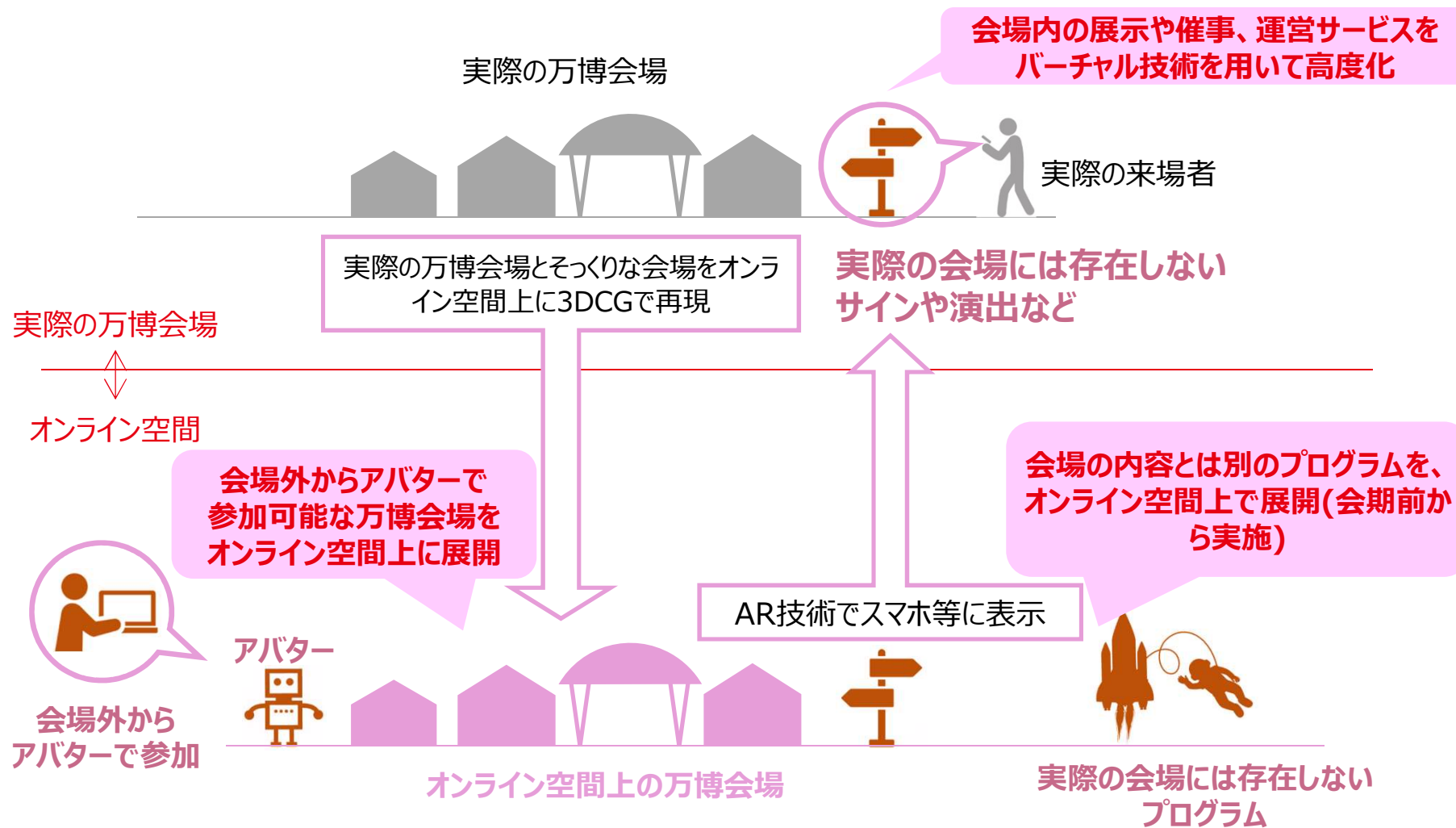
今後、これらの事業を実現する具体的アイデア等を募りながら、「Society 5.0実現型会場」の実装を目指す

バーチャル万博①

- 大阪・関西万博では、バーチャル技術を活用し、万博の魅力と発信力を高める「バーチャル万博」を行う。

	万博会場で行うプログラム (会期中実施)	万博会場とは別のプログラム (会期前から実施)
万博会場 (来場者向け)	<p>会場内の展示や催事、 運営サービスをバーチャル技術 を用いて高度化</p>	
オンライン空間 (オンライン参加 者向け)	<p>会場外からアバターで 参加可能な万博会場を オンライン空間上に展開</p>	<p>会場の内容とは別の プログラムを オンライン空間上で展開</p>

バーチャル万博 ～具体的なイメージ～



バーチャル万博③ ～EXPO PLL Talks～

- サイバー万博（仮）の検討をEXPO PLL Talksで開始。
- 第一回EXPO PLL Talksでは、新しい万博の価値に関する対話を深めていくと同時に、サイバーを活用した万博の可能性や、今回の万博に秘められる新しい価値について議論することを目的に、PLLクリエイター齋藤精一氏をファシリテーターとし、大阪・関西万博のプロデューサーの方々との対談を実施。



主催：経済産業省、(公社)2025年日本国際博覧会協会
Organizer: Ministry of Economy, Trade and Industry (METI), Japan Association for the 2025 World Exposition

OSAKA, KANSAI, JAPAN EXPO2025

EXPO PLL Talks #001

新しい万博の価値

Exploring New Role of EXPO

サイバー万博の可能性

Potential of Cyber EXPO

4/7 wed. 18:00-19:00 ONLINE

参加費：無料
Participation fee: Free

参加方法：参加登録不要。時間になりましたら以下URLにアクセスしてください。
No reservation required. Please access to the following URL

日本語 <https://youtu.be/uRv09j-IDVk>

English <https://youtu.be/Oj40r0nUJlk>

パノラマティクス 主宰
齋藤 精一 氏
PLLクリエイター
PLL Designer
SAITO Seichi

映画監督
河瀬 直美 氏
テーマ事業 プロデューサー
Theme Producer
Filmmaker
KAWASE Naomi

建築家
藤本 壮介 氏
会場デザインプロデューサー
Site Design Producer
Expo Site Design Producer
FUJIMOTO Sou

慶応義塾大学 医学部教授
宮田 裕章 氏
テーマ事業 プロデューサー
Theme Producer
Professor, Keio University
MIYATA Hiroaki

EXPO PLL Talksのアーカイブはこちらの協会ホームページからご覧いただけます。

以降の情報もこちらのページに掲載します。

https://www.expo2025.or.jp/overview/expo_pll_talks/

ぜひご覧ください！

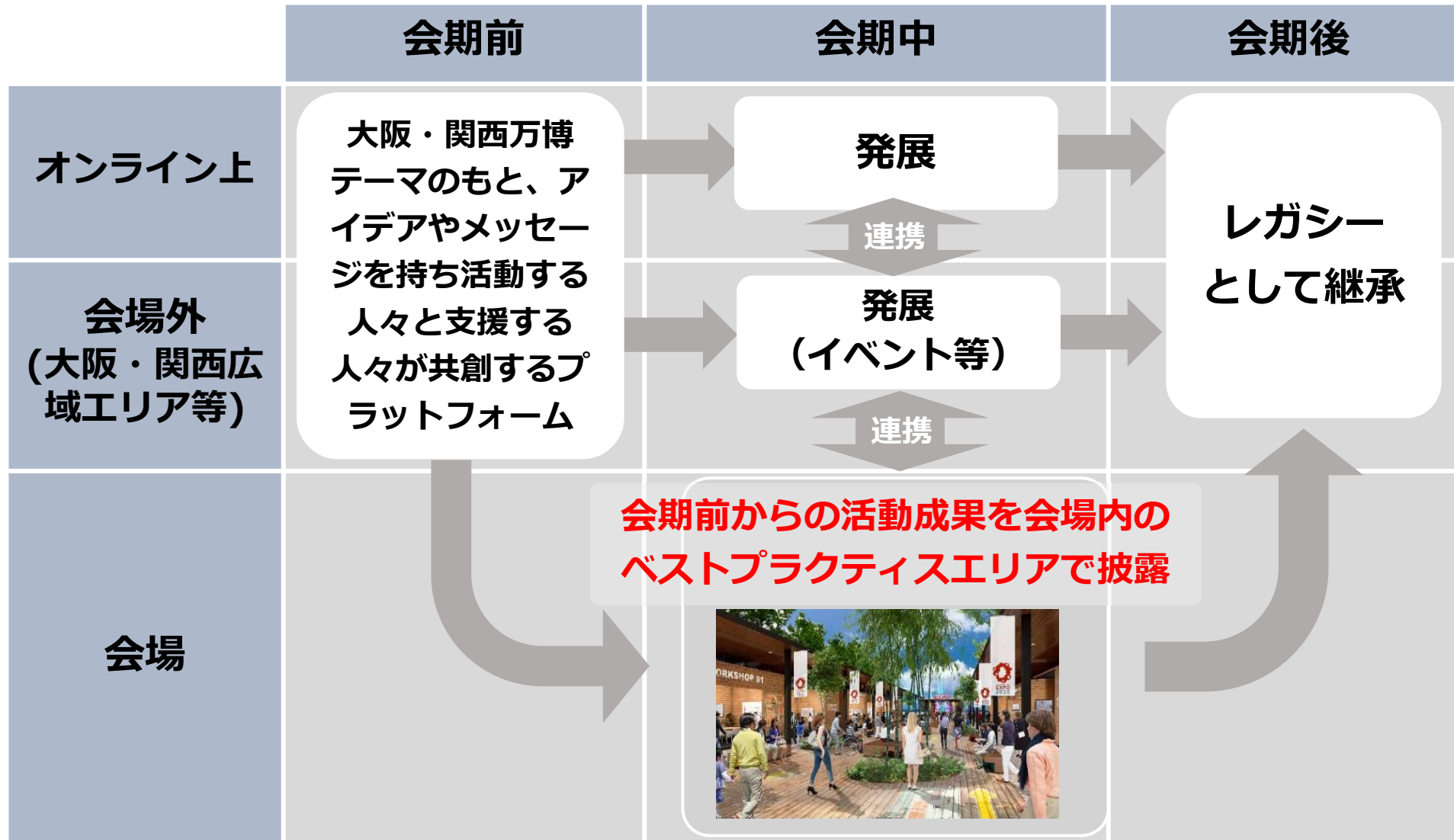
QRコードはこちら↓



第一回EXPO PLL Talks「新しい万博の価値 —サイバー万博の可能性—」リーフレット

「TEAM EXPO 2025」プログラム①

- 会期前より2025年に向けて、大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現し、SDGsの達成に貢献するために、多様な参加者が主体となり、理想としたい未来社会を共に創り上げることを目指す取組を推進する。



共創チャレンジ

本万博のテーマの実現、SDGs達成の貢献に向けた多様な活動

(活動例)

- 産官学が連携し、持続可能な地域づくりをめざす活動
- 小中学生が子どもたちが、SDGs達成を目指すロボット制作を通じて世界の子どもと共創を進める活動
- アート・デザインの力を活用したSDGsの発信、社会活動
- 企業（ベンチャー企業、中小企業、大企業）がSDGs達成への貢献の元に進める新規事業活動
- 万博の機運醸成に関する活動（学校、企業、団体、様々なレベルで）
- その他、環境エネルギー、健康医療、観光など様々なテーマにおける活動



共創パートナー

多様な活動を創出・支援する企業・団体



人の支援 資金の支援 場・ものの支援 情報発信の支援

民間企業（金融、メディア、教育、メーカー等）、団体、
大学、国・自治体、社会起業家等

キーワード

SDGs Society5.0

共創（Co-Creation）

多様なセクターの参加

- 催事は万博会場の様々な場所と時間で開催される。協会が企画する催事のみならず、広く参加を募ることにより、様々な分野の催事が開催される。

主催者催事 主催者が協賛企業等と共に行う催事

劇場催事	広場催事	環境演出催事		
音楽	ステージ催事	ウォーターワールドの水上ショー	プロジェクションマッピング	アートプログラム
演劇	映像	展示体験催事		
芸能	パレード/祭り	メッセ展示会	ギャラリー展示会	伝統文化展示会
未来型エンターテインメント				
テーマフォーラム				

参加催事 文化団体や自治体等の参加により行う催事



■屋外イベント広場のイメージ



■ウォーターワールドで行う
環境演出催事のイメージ

- デジタル技術等を活用した以下のような取組を検討し、来場者にとって快適な万博を目指す。

入場事前予約制度

事前に混雑度を予測できるので、
混雑する日を避けて来場可能

パビリオン予約制度

十分な予約枠を確保

電子チケットの導入

デジタル技術を活かしたゲート認証

入場できる期間や時間帯を 限定した入場券の設定

混雑が予想される日や来場者が集中する
ピーク時間帯の混雑を緩和

実用が進んだ分野における ロボットの活用

清掃、ごみ運搬、物流、モビリティ等

自動翻訳技術の導入

テーマフォーラム等で言語の壁を感じさせない環境を実現

データを活用した入場券購入から退 場までの一体的なサービス

入場券購入・来場・入場・場内移動・退
場といった一連の来場者のニーズに対し
て連続的かつ一体的にサービスを提供

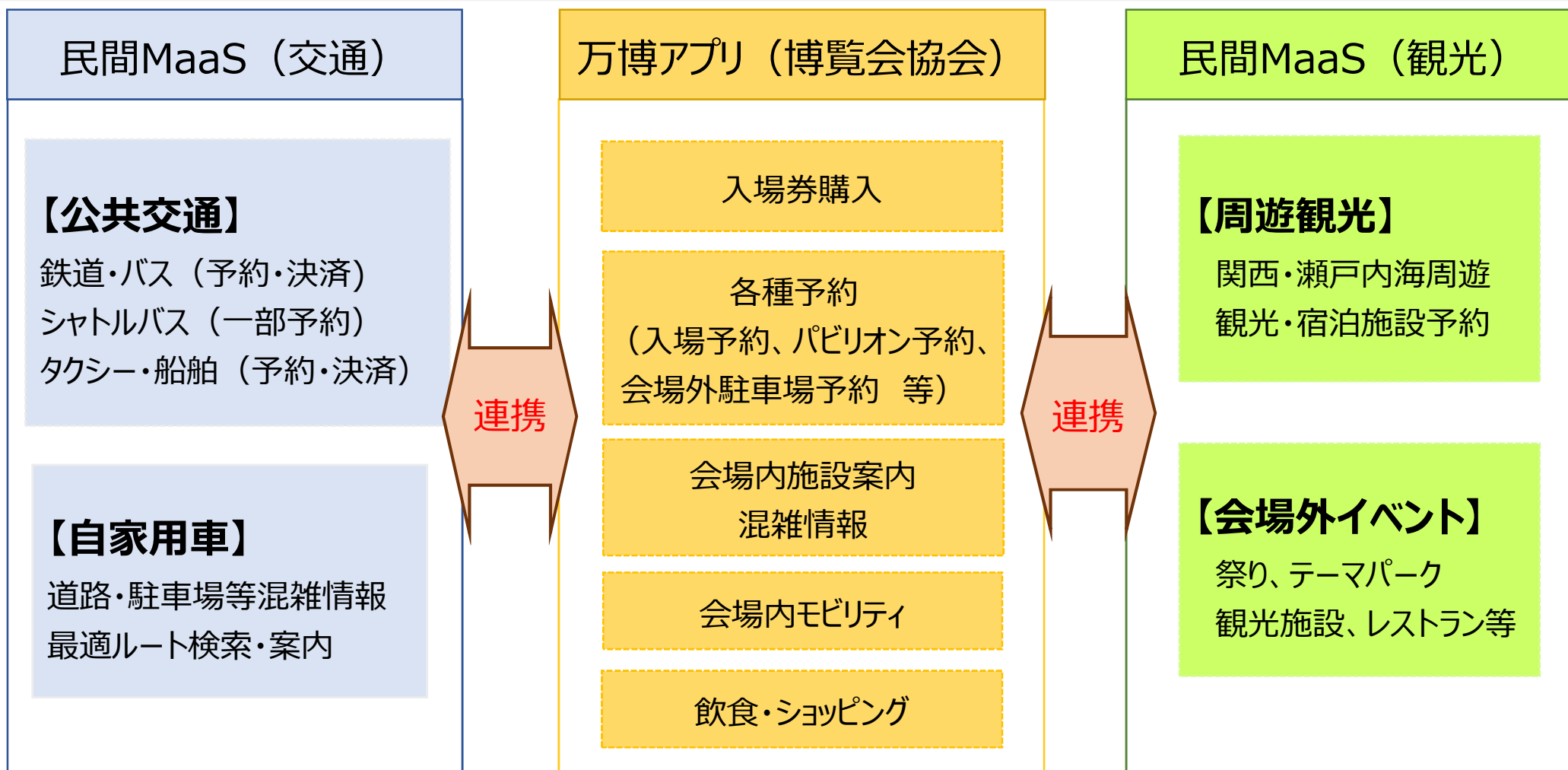
会場運営
プロデューサー
石川 勝



※敬称略

(参考) 万博アプリで提供するサービスイメージ (例)

- 万博の会場情報（入場券購入、入場・パビリオン予約、施設案内、モビリティ予約等）を中心に、その前後の移動・観光（交通機関、渋滞情報、駐車場予約、周辺の観光情報等）情報を一体的に提供することで、ストレスなくスムーズな移動・サービスが可能となる。



(参考) 自動翻訳技術の導入イメージ (例)

自動翻訳技術の導入で、世界との言葉の壁を超えて、世界中の人々との交流を

多言語案内端末・ロボット

- ・多言語AI案内、多言語遠隔案内の機能を実装
- ・会場内の特に案内所・休憩所周辺での案内を担う

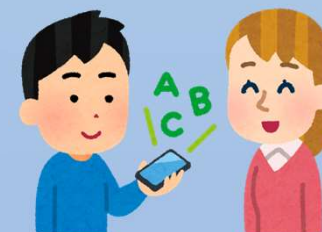
多言語AIスピーカ・web会議サービス

- ・国際会議等での同時通訳
- ・会期前を含めたWebカンファレンス等での多言語対応



多言語通訳アプリ

- ・イベント／講演での同時通訳
- ・場内放送、緊急放送、避難誘導時の多言語対応



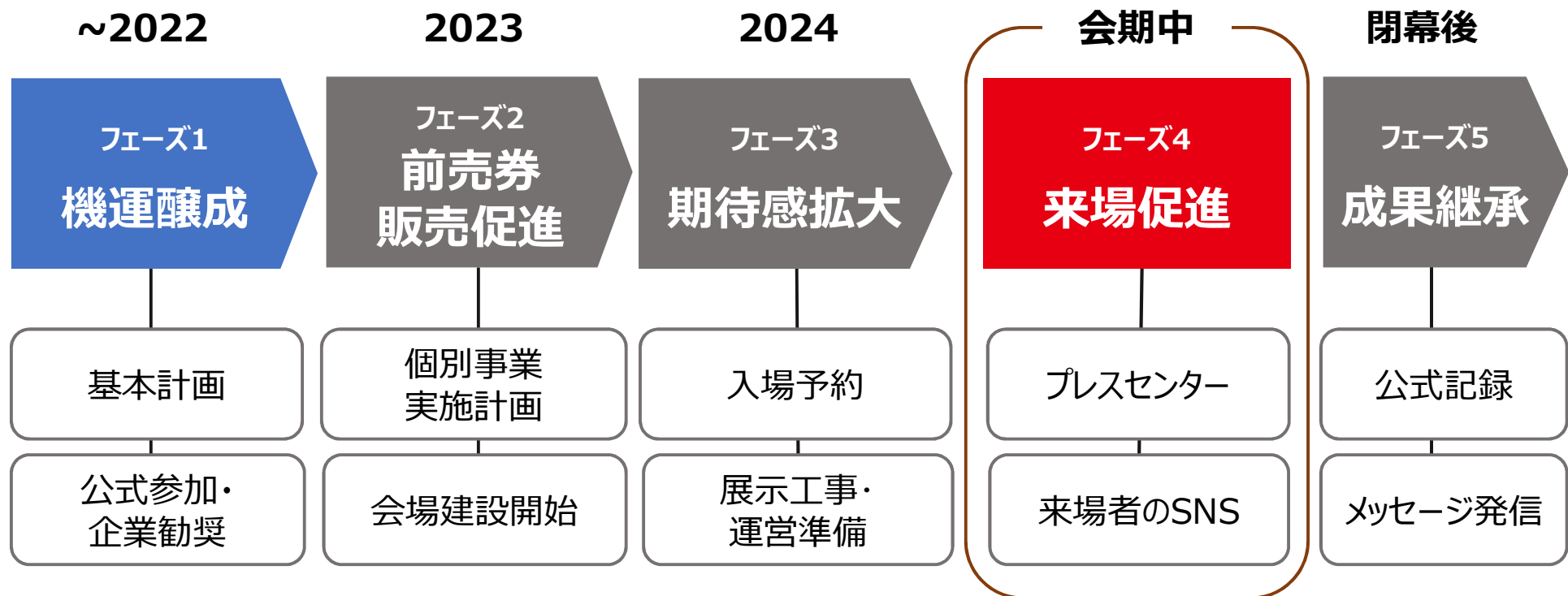
多言語ウェアラブルデバイス

- ・会場内でのツアー案内やプレゼンテーションでの同時通訳
- ・会場内でのコミュニケーションでの同時通訳

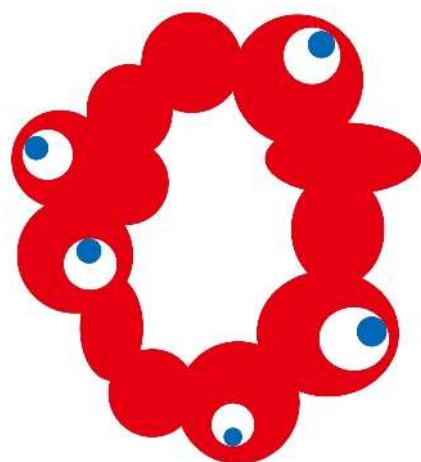


広報・プロモーション

- 国内外の様々な人々、国・自治体・企業・団体等の多様なステークホルダーに、
 - ①大阪・関西万博への興味や関心を持ち、
 - ②参加意欲を高めてもらい、
 - ③万博会場への出展、来場へと繋げていき、
 - ④会期前及び会期中に創出されたレガシーを伝え、後世に継承していくため、
 広報・プロモーション活動を実施していく。



最優秀作品



OSAKA, KANSAI, JAPAN
EXPO
2025

グループ名：TEAM INARI(チーム イナリ)
作者(代表者)：シマダ タモツ
(アートディレクター/グラフィックデザイナー)

70年大阪万博
ロゴマーク



コンセプト

踊っている。跳ねている。弾んでいる。だから生きている。大阪・関西万博。1970年のデザインエレメントをDNAとして宿したCELLたちが、2025年の夢洲でこれからの未来を共創する。

関西とも、大阪府ともとれるフォルムを囲んだメインシンボルだけでなく、CELLたちは、文字や数字を描きだし、キャラクターとしてコミュニケーションする。自由に。有機的に。発展的に。いのちの輝きを表現していく。

- “大阪・関西万博の顔”として万博の魅力を伝える「2025年日本国際博覧会協会アンバサダー」を2020年2月に発表

(五十音順・敬称略)

コブクロ (ミュージシャン)



佐渡 裕 (指揮者)



ダウタウン (タレント)



宝塚歌劇団 (エンターテインメント)



©宝塚歌劇団

松本 幸四郎 (歌舞伎役者)



山中 伸弥
(京都大学iPS細胞研究所所長・教授)



「基本計画」に基づき、各国への参加招請活動と企業等への参加招請活動を展開し、参加と共創を促進するとともに、各分野毎に詳細な計画を1～2年かけて作るフェーズへ入っていく。



国家事業である万博は、東京オリパラの実証・実装実験、愛知万博「自然の叡智」を引き継ぐもの

各国VIP等が訪れ、各国・企業とのつながりを強化する場
日本ブランドを売り込む大いなる機会

万博は、未来社会の実験場。
万博でなければできない実験への参加と、
世界中に示すショーケースの活用を。

2025年大阪・関西万博

ワールドマスターズゲームズ関西（2022年）

東京オリンピック・パラリンピック（2021年）

ラグビーワールド杯（2019年）

2005年愛・地球博
テーマ「自然の叡智」

1970年大阪万博

1964年東京オリンピック・パラリンピック

万博を
世界・日本・地域・企業の
次の時代を
つくるきっかけに

- **内閣官房国際博覧会推進本部ホームページ**

2025年に開催される国際博覧会（大阪・関西万博）の準備及び運営に関する施策の推進を図るための基本方針（令和2年12月21日閣議決定）

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/expo_suisin_honbu/index.html

- **2025年日本国際博覧会協会ホームページ**

基本計画 <https://www.expo2025.or.jp/overview/masterplan/>

PR動画 <https://www.expo2025.or.jp/overview/movie/>

未来社会ショーケース事業（People's Living Lab）アイデア応募

<https://www.expo2025.or.jp/pll/proposal/>

「TEAM EXPO 2025」プログラム 共創パートナー・共創チャレンジ募集

<https://team.expo2025.or.jp/>